

山口大学医学部附属病院および研究参加施設で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	心房細動アブレーション症例における機械学習の有用性			
② 実施予定期間	実施許可日から2029年12月31日			
③ 対象患者	④の対象期間に研究参加施設で心房細動カテーテルアブレーション治療を実施された患者さん			
④ 対象期間	山口大学医学部附属病院：2010年1月1日から2021年12月31日まで 山口県立総合医療センター：2017年4月1日から2021年12月31日まで 追跡期間：2024年12月31までの情報を収集します。			
⑤ 研究機関の名称	別添参照			
⑥ 対象診療科	第二内科			
⑦ 研究責任者	氏名	石口博智	所属	山口大学医学部附属病院 循環器内科
⑧ 使用する情報等	症例プロフィール（年齢、性別、身長、体重、罹患期間等）、病態像、検査項目（血液生化学検査、心エコー所見等）、治療の詳細データ（治療に使われた道具、使用したエネルギーソース等）、予後データ（不整脈の再発、主要心血管イベント）			
⑨ 研究の概要	心房細動アブレーションは有効である一方、一部の患者さんでは不整脈の再発を合併します。不整脈の再発が無かった場合も、長期間の経過観察期間のなかで脳梗塞や心不全などを来すことがあります。これらの臨床的に重要なイベントの予測について、機械学習を用いることで術前の情報から予測する事ができる可能性があり、検証することを目的とします。実際には、まずは山口大学病院での症例を用いて、診療で得られたデータをもとに、機械学習を用いて、イベントに対する予測モデルを作ります。良好なパフォーマンスを有するモデルが作られた場合、山口県立総合医療センターでのコホートに対しても同様にパフォーマンスをテストします。これらのプロセスにより、イベント予測に有用で、一般性のある機械学習モデルを作成することを目指します。データは匿名化され（お名前や個人を特定できる情報を削除し、代わりに番号を使用）、各病院で厳重に管理されます			

⑩ 実施許可	研究の実施許可日	2025 年 4 月 10日		
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。			
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。			
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。			
⑭ 知的財産権	研究グループに帰属します。			
⑮ 研究の資金源	山口大学第二内科の奨学寄附金			
⑯ 利益相反	ありません			
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	山口大学医学部附属病院 第二内科 担当者：石口 博智			
	電話	0836-22-2248	FAX	0836-22-2246

研究組織：

研究代表者 山口大学大学院医学系研究科 器官病態内科学 石口博智

研究参加施設と研究責任者

山口大学医学部附属病院 石口博智

山口県立総合医療センター 上山剛